

令和2年度 第3回 大阪市立常盤小学校 学校協議会 実施報告書

校名 大阪市立常盤小学校
校長名 三島 公徳

日 時	令和3年3月17日（水） 16時～17時			
場 所	大阪市立常盤小学校 多目的室			
出席者	委員など	中定 浩（会長） 高岡祥介（委員） 嶋田峰典（委員） 春元奈緒美（委員） 西川雅代（委員） 石井有美（委員） 土肥純平（委員） 蔭山純子（委員）		
	校園	三島公徳（校長） 林真美子（副校長） 松本守隆（教頭） 中川敬吾（教務主任）		
	区役所			
議題	(1) 運営に関する計画 最終評価について (2) 学校改善に向けた意見交換について (3) その他			
協議要旨	協議の結果		意見の概要	
	(1)	取組内容及び達成状況について了承された。	<ul style="list-style-type: none">【子どもが安心して成長できる安全な社会の実現】については、目標を達成できた。「安全で安心できる学校、教育環境の実現」においては、コロナウィルス感染症対策を念頭に学校行事の「中止」や「工夫して実施」を行った。全学年一斉の運動会を学年ごとのミニ運動会に変更したり、たてわり活動をペア学年での取り組みにし、活動開始時期も感染症の状況を見て2学期以降に変更した。 地震・津波・火災の避難訓練は、予定通り実施し「自らの命を守る行動をとる」ことに取り組むことができた。不登校をはじめとし様々な課題を有する児童が安心して登校できる学校づくりについては、「生活指導連絡会」「不登校児童等対策会議」を定期的に開催し、児童の様子や対応・指導の方向性などの共通理解を図ることができた。新たに不登校になる児童の割合が0.63%と目標を達成できていない。コロナウィルス感染症による2ヶ月の学校休業の影響も否めないが、教職員全体での共通認識・理解をより充実させ児童が安心して学校で過ごせるよう研修の機会も設けるようにする。【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】については、コロナ禍で2ヶ月の学校休業による授業時数の確保のもと、時間割の工夫をしながら取り組んだ。学校アンケートの「学校の勉強はわかりますか」の質問において、肯定的回	

		<p>答は95%と目標を大きく上回った。</p> <p>今年度の研究教科である国語科「書くこと」について、低・中・高学年の3回の研究授業を行い、阿倍野区教員研究会で発表し、研鑽を深めることができた。</p> <p>「健康や体力を保持増進する力の育成」においては、コロナ感染症対策として、手洗いやマスク着用など目標を明確に示し、毎週振り返りを行うことで、感染症予防の意識づけができた。</p>
(2)	理解を得た。	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ感染症の収束はまだまだ見込めない。児童の健康管理を第一に考え、引き続きマニュアルに則つて感染予防対策を行っていく。 ・児童の体力向上につながるよう、パワーアップタイムの有効活用について認識を深める。 ・一人一台端末の活用について、授業中の調べ学習やオンライン授業の取組を行っている。全校使用となると電波が不安定でスムーズな動きでなくなるため、システム面や活用の仕方について課題を検討していく。
(3)	理解を得た。	<ul style="list-style-type: none"> ・通学路の安全について、登校時の見守りに地域の見守り隊の方のご協力をいただいているが、保護者の参加方法についても今後再考を検討していく。また、警察・地域と連携して行っていた防犯会議についても再確認し、児童の安全確保につなげる。 ・保護者アンケートをオンラインで実施した。担任の集計作業の軽減にもつながっている。 ・コロナ感染症の予防対策として健康管理や消毒など、保護者の理解・協力を得ながら今後も継続して安全対策に取り組む。
協議資料	<input checked="" type="radio"/> 「運営に関する計画」 最終評価について	
備考	傍聴者なし	